



発行所
日高報知新聞社
〒057-0034
洞河町坊町西1丁目3-20
TEL(代表) 0146-22-2411
FAX 0146-22-2538
編集部 0146-22-2411
営業部 0146-22-2417
社内支社 0146-42-1411
門別支局 01456-3-2251

過去最高の9億8千万円

「しずない農協販売 ミニトマト」太陽の瞳

【新ひたか】しずない農協で販売する静内産ミニトマト「太陽の瞳」の平均9億円だった。大きな29年販売総額が、前年目標として掲げる10億8千万円を大幅に上回った。過去最高を記録した。太陽の瞳は、粒ぞろいで糖度と酸味のバランスがとれた高品質の「キャラクター」に品種を統一して栽培。農薬の削減に努め、収穫終了後には土壌診断を全戸実施し、それに基き肥料を出荷。8月の低温により後半の出荷ペースが遅くなったが、前年のように花が実をつける前に落ちることも少なく、収穫量も13戸減の707トンと高値を維持した。

しずない農協担当者によると、計画では販売総額を9億2千万円としていたが、市場関係者に一生懸命販売してもらったことや生産者の皆さんの努力もあって予想以上の出来になったと振り返り、市場関係者から出荷量をいかに増やすかを要望があったため「それに応えるためにも組合員も農協も一丸となって頑張った」と話している。

来年は、研修中の4組が新たに就農(新規1組、継承1組、開放継承2組)を予定。10億円台突破に向けては「大規模で単価が上がることもあろうが、出荷量を少しでも増やすことができればいい」と話している。



静内産ミニトマト「太陽の瞳」の収穫作業

静内産ミニトマト「太陽の瞳」の収穫作業

静内産ミニトマトの販売総額は、平成元年の2億448万円(9戸)から8年には1億円(17戸)となり、14年に5億円(46戸)、23年に7億円(37戸)、28年に8億円(41戸)となり、近年は右肩上がりの実績を上げて道内有数の産地に成長。28年は災害や天候不順から前年比約6千万円減の8億6615万円だった。今年も新就農者4戸を含む45戸の農家と静内巨名ハウス団地へ研修中の4組が、前年とはほぼ同じ約30トンに作り付け。4月20日から11月27日まで前年比約19%増で過去最高の13億4千万円を記録した。

しずない農協担当者によると、計画では販売総額を9億2千万円としていたが、市場関係者に一生懸命販売してもらったことや生産者の皆さんの努力もあって予想以上の出来になったと振り返り、市場関係者から出荷量をいかに増やすかを要望があったため「それに応えるためにも組合員も農協も一丸となって頑張った」と話している。

来年は、研修中の4組が新たに就農(新規1組、継承1組、開放継承2組)を予定。10億円台突破に向けては「大規模で単価が上がることもあろうが、出荷量を少しでも増やすことができればいい」と話している。